

次世代 HERO

Next Generation's Hero

くがいよしひろ
久開慶大 さん

第16回 若年者ものづくり競技大会 電気工事部門 銅賞

電気研究部に所属。
ものづくりで自分を高めたい。



◀久開さんのスゴ技を公開!!
下関市広報戦略課YouTube
チャンネルへ



8月に愛媛県松山市で行われた第16回若年者ものづくり競技大会電気工事部門で銅賞に輝いた、下関工科高等学校3年生の久開慶大さんを紹介します。

この大会は、工業高校などで技術を学ぶ20歳以下の学生が屋内配線工事の技能レベルを競うもの。標準時間である2時間40分以内に課題を完成させます。「競技開始5分前に課題が分かるので、まず1分間で全体を把握して4

分間で工程を考えます」と久開さん。「採点は減点方式。作業量の多い課題で時間との戦いとなる中で、精度の高さが求められるところが大変です」と話してくれました。

電気工事士としての就職が決まった久開さん。「電気工事は、電気の通る安全な道を作る、というイメージ。多くの人に喜んでいただけるような仕事をしたいです」夢に向け、全国5位の技術にさらなる磨きを掛けていきます。



▲電気研究部の仲間と切磋琢磨し受賞。周囲への感謝も忘れない。



玄関先でのごみ収集の様子

高齢者などの ごみ出しを 支援します



市長コラム / 希望の風 市長の部屋

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。行政のサービスを通じて、住んでいる街に「優しさ」を感じられることって、すごく大切なことだと思います。「そんな制度があるんだ。優しいね。誰にも相談できず困っている人にはとても助かる話だね」というような話が市民の間で自然と存在するような仕組みをつくっていききたいと思っています。

今回紹介するのは、「ごみ出し困難者支援事業」です。この事業は、ごみステーションまでごみを出しに行くことが困難な世帯を対象に、スタッフがご自宅の玄関先まで訪問し、燃やせるごみを収集する事業です。そして、安否確認まで同時に行うことも可能な内容となっています。利用できる世帯の範囲は、障害が1級2級であったり、65歳以上で要介護度2以上であったり、決して広くはありません。しかし、本当に困っている方々に小さくとも光を当てていく仕組みづくり、

優しさは、高齢化が進むこれからの社会においてとても必要な考え方であり、家庭ごみを収集するスタッフも、意欲的に従事してくれています。環境部を中心に市役所一丸となって取り組み、これからも「優しさ」あふれる下関市を目指していきたいと思います。皆さん、ご理解ご協力よろしくお願いします。